

## 新潟県小中学校教頭会の歩み

年	月 日	おもなできごと	会員数	郡市教頭 会数
昭和34		(参考) 第1回全国教頭協議大会 東京(34年)		
35		(参考) 第1回関プロ研究大会 茨城県		
38	12/26	「有志懇談会」 全県統一教頭会の発足へ向けて気運が高まる。 これまで、郡市又は隣接郡市単位で活動し、全県的な交流はなかった。		
39		新潟地震(6月)のため、この年発足の予定が実現できなくなった。		
40	9/15	「新潟県小中学校教頭会連合会」結成大会 新潟日報ホール 小学校教頭会、中学校教頭会、小中学校教頭会連合会の三本立てで発足する。 初代会長 青木三郎(関屋小学校) 第1回新潟県小中学校教頭研修大会		
41	10/27・28	第7回関プロ研究大会 新潟県湯沢町湯沢中学校 参加者1200人 「全国公立学校教頭会」に加入		
42		第3回研修大会妙高大会		
43	10/30	第4回研修大会新潟大会		
44	8/5・6・7 11/1・2	第11回全国公立学校教頭会総会研究協議大会 県民会館 第5回研修大会長岡大会		
45	10/2・3	第6回研修大会高田大会		
46		第7回研修大会吉田大会		
47	10/6・7	第8回研修大会小千谷大会		
48	4/1 8/23・24	「新潟県小中学校教頭会」発足 三本立ての教頭会を一本にまとめ、組織の強化、情報処理の円滑化、迅速な事務処理を目指す。 県知事他7人に「要望書」を提出(9月)、「教育懇談会」を実施(10月) 第9回研修大会糸魚川大会		
49	10/3・4	第15回関プロ研究大会 第10回研修大会新潟大会 新潟県民会館 白山小学校 参加者1400人 この年2月の「人確法」公布、6月の「教頭法」成立を受けてこの大会は、「人確法・教頭法成立記念大会」と呼ばれ、歴史に残る熱気あふれる大会となった。		
50	8/22・23	第11回研修大会三条大会		
51	8/24・25	第12回研修大会柏崎大会	1066	35
52	10/21・22	研究大会の平日開催。大会要項の事前配布始まる。郡市教頭会の共同研究に重点を置く。 第13回研修大会村上大会	1059	
53	10/20・21	第14回研修大会十日町大会	1052	
54	10/19・20	第15回研修大会妙高大会	1041	37
55	10/17・18	「日本教育会新潟県支部」結成大会 教頭会から100人参加 第16回研修大会新発田大会	1027	37
56	10/23・24	第17回研修大会長岡大会	1017	
57	10/8・9	第18回研修大会佐渡大会	1014	37

58	10/14・15	第19回研修大会三条大会	1003	37
59	10/18・19	第25回関プロ研究大会 第20回研修大会赤倉大会 高原観光会館 赤倉旅館他 参加者2100人	1003	38
60	10/18・19	第21回研修大会新津大会	993	38
61	4/1 10/17・18	常設の事務局を置く。所在地 新潟市弁天3丁目2番6号坂井ビル2階 初代主事 杉本小太郎 第22回研修大会北魚大会	986	38
62	10/16・17	第23回研修大会柏崎大会	983	38
63	10/4・5	第24回研修大会新潟大会	979	38
平成元年	10/21・22	第25回研修大会十日町大会	961	38
2	10/19・20	第26回研修大会糸魚川大会	952	38
3	10/18	第27回研修大会西蒲・燕大会	948	38
4	10/16・17	「新潟県同和教育研究協議会」に加入 第28回研修大会長岡大会	942	38
5	8/3・4・5	第35回全国研究・第34回関プロ研究・第29回研修大会新潟大会 新潟市産業振興センター県民会館他参加者3925人	934	38
6	10/14・15	第30回研修大会上越大会	929	38
7	10/20・21	第31回研修大会三南大会	918	38
8	11/15・16	11 県教育委員会との「教育懇談会」がこの年より小・中校長会と共催になる。 第32回研修大会新発田大会	909	38
9	11/5	第33回研修大会新井大会 この年より研究大会日程を一日とする	897	38
10	11/6	教頭会専門部を整理・統合し4部門とする（調査要請部、広報部、研究部、教育課題部）。 第34回研修大会六日町大会	891	38
11	11/5	第35回研修大会新津大会	879	38
12	11/2	第36回研修大会柏崎大会	864	37
13	11/9	この年より「日本教育会」へ全会員が加入する。 関プロ実行委員会発足 事務局にコンピュータ導入、メールアドレス取得 第37回研修大会十日町大会	851	37
14	11/7・8	第43回関プロ研究大会・第38回研究大会新潟大会 県民会館他 参加者1721人	851	37
15	11/7	第1回（通算39回）ブロック別研究大会が始まる。全県を上越、中越、下越A、下越Bの4ブロックに分け、ブロック別大会を2年、3年目に全県大会を行う。 県教育委員会との「教育懇談会」は、この年より教頭会はオブザーバーとして出席することになる。	846	37
16	4月 6月	事務局移転 所在地 新潟市笹口2丁目7番17号和田ビル2階 県小中学校教頭会ホームページを開設	834	36

	11月	中越地震（10月）のため、第2回（通算40回）ブロック別研究大会を中止し、提言は紙上発表となる。 長岡市古志郡小中養護教頭会が、「その時、学校は一教頭が語る震災レポート」を刊行（17年3月） 市町村合併が急速に進む。		
17	11/11	第41回研究大会上越大会 長岡市小中養護教頭会が、「震災対応マニュアル ー長岡版ー」を刊行（18年2月）	818	30
18	11/2 11/4・5	第42回研究大会第3回ブロック別研究大会 「中越地震に学ぶ会」に全公教会長等6人が来県。山古志等を視察し（4日）、阪之上小学校で研修を行う（5日）。 ホームページ一部改良（本部役員が直接アップロード可）	816	25
19	11/2 11/7	中越沖地震（7月） ホームページ一部改良（HP上で教育課題部のアンケートに回答・集計可） 第43回研究大会第4回ブロック別研究大会（上越・下越A・下越B） 第43回研究大会第4回ブロック別研究大会（中越）	815	24
20	11/7	財政改革進む（研修費、専門部費、地区活動助成費等を見直し、無駄を省く）。 全ての中等教育学校等教頭が会員となる。 第44回研究大会長岡大会	806	24
21	11/6	関ブロ準備委員会発足 第45回研究大会第5回ブロック別研究大会	797	24
22	11/5	第46回研究大会第6回ブロック別研究大会	779	24
23	11/10・11	第52回関ブロ研究大会・第47回研究大会新潟 参加数1689名 新潟市民芸術文化会館他5会場 県事務局、関ブロ事務局の2人体制 東日本大震災に県教頭会として義援金1人2000円拠出し、岩手県、宮城県、福島県のそれぞれの教頭会に50万円を贈る。	774	24
24	11/2	県事務局1人体制に戻る。 第48回研究大会第7回ブロック別研究大会	765	24
25	11/1	村上市小学校教頭会と村上市・岩船郡中学校教頭会が合併し、村上市・岩船郡となる。 第49回研究大会第8回ブロック別研究大会	750	23
26	10/31	新潟県小中学校教頭会50周年記念第50回新潟県小中学校教頭会研究大会 新発田・胎内・北蒲大会	738	23
27	10/30	第51回研究大会第9回ブロック別研究大会	729	23
28	10/28	第52回研究大会第10回ブロック別研究大会 関ブロ推進委員会発足	725	23
29	10/27	53回研究大会上越・妙高大会 関ブロ準備委員会発足	714	23

30	11/2	第54回研究大会第11回ブロック別研究大会 関ブロ実行委員会発足	703	23
----	------	-------------------------------------	-----	----

※資料が散逸し、不明の部分は空欄になっています。情報等をお寄せいただけたら幸いです。